

新型コロナウイルス感染対策

妊婦対象の接種ですので、感染対策にご協力ください。
以下の場合には接種できませんので、ご了承ください。

1.接種される方やご家族の体調(小児を除く)

接種日からさかのぼって1週間以内に以下の症状がある場合

- ①発熱
- ②頭痛
- ③咳・咽頭痛
- ④倦怠感・関節痛
- ⑤味覚・嗅覚の異常

2.接種される方やご家族の行動歴(2週間以内)

- ①飲食を伴う会合に参加された
- ②県外との往来
(トラックのドライバーなどエッセンシャルワーカーの方を除いて)
- ③県外から来られた方との接触
(例:マスクをしても15分以上の会話、一定時間、同じ車での移動、飲食)

3.接種される方が新型コロナウイルスに感染した方、濃厚接触者と接触した場合



新型コロナワクチンについてのQ&A

ここでは当院での予約・接種についてのQ&Aとなります。ワクチンについて、妊婦対象の接種についてのQ&Aについては、下記の信頼できるサイトを参照下さい。

- Q.** 里帰りしている妊婦ですが、接種できますか？
- A.** 接種できます。県内外問わず、里帰り出産を予定されている方も対象になります。
- Q.** 配偶者のみでも接種できますか？
- A.** 接種できます。おそらく、当院受診歴はないと思われます。手続きが必要となるため、電話でのご予約をお願いします。
- Q.** まだ母子健康手帳をもらっていませんが、接種できますか？
- A.** 接種できません。妊娠届出をし、母子健康手帳をもらってからご予約ください。
- Q.** 鶴岡市在住の妊婦で、かかりつけ医が他市の産婦人科です。接種できますか？
- A.** 接種可能です。夫・パートナーの方も可能です。手続きが必要となるため、電話でのご予約をお願いします。
- Q.** 鶴岡市以外に住んでいて、三井病院で分娩予定の妊婦ですが、接種できますか？
- A.** 各自治体によって異なります。
 酒田市：接種できます(妊婦本人のみ)。
 三川町：町で19歳以上の集団接種が行われています。この枠で予約をとっていただくこととなります。
 庄内町：すでに町から接種希望の有無を個別に連絡して確認。希望される妊婦本人へ集団接種で実施。
 遊佐町：確認中
- Q.** 接種前に出産になった場合はどうなりますか？
- A.** 鶴岡市に確認したところ、今回は妊婦対象の優先接種のため、出産後はその対象から外れるとのことでした。夫・パートナーの方も同様になります。

ワクチン接種についてのQ&A

厚生労働省

[私は妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、ワクチンを接種することができますか。](#)

[| 新型コロナワクチンQ&A | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)



[日本産婦人科感染症学会](#)

[女性の皆様へ 新型コロナワクチン\(mRNAワクチン\)Q&A～](#)

日本産婦人科学会・日本産婦人科医会・日本産婦人科感染症学会

[妊産婦の皆様へ 新型コロナ\(メッセンジャーRNA\)ワクチンについて\(第2報\)](#)



※ PCからはリンクを、携帯からはQRコードを読み取ってご覧ください。

コロナ感染の妊婦、入院できず自宅で出産 新生児が死亡

2021年8月19日、ショッキングなニュースが全国を走りました。

現在、庄内地区にも新型コロナウイルス感染症の第5派と呼ばれる感染拡大が起きています。特に、20～30代の感染者数の増加が顕著です。そこで問題となってくるのが妊婦の感染です。

右図①は東京都内の1カ月ごとの、②は沖縄県の1カ月ごとの妊婦の新型コロナウイルス感染症数です。①では、7月1カ月間の陽性者数は第4波の最大50人の約2倍となる98人に上っています。②では7月に比べて8月1カ月間の陽性者数は5倍近い数となっています。妊婦は、一般の人より適切な感染対策をとりやすいとされていますが、この第5波ではデルタ型による感染拡大もあって増加していると思われる。

妊婦は重症化しやすいのでしょうか？③は妊娠前後の体の変化の図です。妊娠中は子宮がどんどん大きくなっていくので、肺の下にある横隔膜を上を押し上げるようになります。

そのため、肺の容積が小さくなるので呼吸がハアハアというような浅い呼吸・息遣いとなり、また新型コロナだけでなく、インフルエンザ呼吸器系の病気になった場合、重症化しやすくなります。妊娠後期の方が重症化しやすい、というのは、このような理由によるものと考えられます。

次に、庄内地区でも最も大きな問題となるのがコロナ感染妊婦、もしくは感染が疑われる妊婦の受け入れ体制です。庄内地区で分娩施設は鶴岡市3施設、酒田市2施設の計5施設しかありません。分娩件数は、庄内全体の約1/3を当院で、

次いで日本海総合病院、荘内病院…の順となっています。このうち、コロナ感染妊婦の受け入れが可能なのは日本海総合病院ですが、庄内地区唯一の感染症指定医療機関で、ただでさえ負担がかかっているため、余裕を持って受け入れられる状況には全くありません。荘内病院も同様です。

ここで、重要となってくるのがワクチン接種です。当初、妊婦に対しての接種は慎重な意見がありました。6月17日の日本産婦人科学会など3団体の合同のメッセージは「日本においても、希望する妊婦さんはワクチンを接種することができます」というものでした。それから2カ月後、8月14日に第2報として合同のメッセージが出されました。その内容は、積極的に接種を勧める内容となっていました。

①妊婦さんは時期を問わずワクチンを接種することを勧める。

→CDC(アメリカ疾病対策センター)が妊婦へのワクチン接種を強く推奨する声明を受けて。

②妊婦さんの夫またはパートナーの方へワクチンを接種することをお願いする。

→妊婦が感染する場合の約8割は、夫やパートナーからの感染という結果を受けて。

というメッセージを発出しています。

これを受けて当院では、鶴岡市に対して妊婦だけでなく、夫・パートナーも対象にとお願いをしました。その結果、県内でほとんどの自治体が妊婦のみが優先接種となる中、鶴岡市は夫・パートナーも優先接種の対象となり、里帰り妊婦(本人のみ)も含めていただいたことは、とても素晴らしいことです。

